

## (IV) 教育研修、普及啓発、技術援助、組織育成支援

## 1 研修会・講演会

地域における精神保健の充実を図るため、保健所、関係機関の職員に対して、研修会及び講演会、連絡会議等を実施した。

## (1) 研修会

| 研修等名<br>(期日・場所)   | 内 容(テーマ、演題)<br>講 師   | 対象及び<br>参加人員  |
|---|--|---|
| 精神保健福祉<br>担当職員<br>初任者研修<br>R1年6月6日(木)<br>13:30～16:30<br>R1年6月7日(金)<br>9:30～16:10<br>(当センター) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県の精神保健福祉の動向と課題<br/>県地域保健課 精神保健班 班長 嘉手納 克子</li> <li>・精神障がい者の理解と対応の仕方<br/>当センター 所長 宮川 治</li> <li>・障害者総合支援法及び障害福祉サービスについて<br/>県障害福祉課 地域生活支援班 主査 饒波 正也</li> <li>・総合精神保健福祉センターの概要と事業紹介<br/>当センター 相談指導班 班長 新城 明美</li> <li>・精神通院医療費公費負担制度及び精神障害者保健福祉手帳制度について<br/>当センター 総務法定班 主査 玉城 善史</li> <li>・地域活動支援センターの概要及び利用者の声<br/>豊見城市地域活動支援センターゆい桜<br/>相談員 山野 宏 及び 利用者1名</li> <li>・保健所の役割について<br/>南部保健所 精神保健班 班長 宮城 政代</li> <li>・発達障がい者の理解と支援<br/>沖縄県発達障がい者支援センターがじゅま～る<br/>主任 久貝 晶子</li> </ul> | <p>対象:市町村、保健所、福祉事務所において本年度より新たに精神保健福祉業務に従事する者</p> <p>参加者:<br/>1日目:50人<br/>2日目:61人</p> |
| ゲートキーパー養成<br>研修(思春期相談機<br>関職員等対象)<br>R1年8月8日(木)<br>13:30～16:30<br>(南部保健所)                   | <p>テーマ:「自傷や希死念慮のアセスメントと支援」</p> <p>講師:大正大学心理社会学部臨床心理学科<br/>教授 近藤 直司</p>   | <p>対象:<br/>思春期相談機関<br/>職員等</p> <p>参加者:123人</p>  |
| ひきこもり支援者研<br>修<br>R1年8月9日(金)<br>10:00～16:30<br>(南部保健所)                                      | <p>講演:「ひきこもりケースのアセスメントと支援」</p> <p>講師:大正大学心理社会学部臨床心理学科<br/>教授 近藤 直司</p>   | <p>対象:ひきこもり<br/>支援に関わる機<br/>関の職員</p> <p>参加者:<br/>92機関 126人</p>                        |

| 研修等名<br>(期日・場所)   | 内 容(テーマ、演題)<br>講 師   | 対象及び<br>参加人員   |
|---|--|--|
| 心理的応急処置<br>(PFA)一日研修<br><br>R1年 9 月 27 日(金)<br>9:20～16:40<br>(当センター)                      | スーパーバイザー:<br>国立精神・神経医療研究センター<br>精神保健研究所 行動医学研究部<br>災害等支援研究室 研究員 大沼 麻実<br><br>講師(Aグループ)<br>沖縄県立中部病院 公認心理師 吉元 なるよ<br>琉球病院 公認心理師 諸見 秀太<br>当センター所長 医師 宮川 治<br><br>(Bグループ)<br>平安病院 公認心理師 滝 友秀<br>琉球病院 公認心理師 高江洲 慶<br><br>内容:講義「PFA 概論」<br>演習「PFA の活動原則」<br>ケースシナリオとロールプレイ                     | 対象:市町村・保健所・消防署職員<br><br>参加者:39 人   |
| 精神障害者地域移行・<br>地域定着支援研修<br><br>R1年 10 月 30 日(水)<br>13:25～16:30<br><br>(当センター)              | 精神障害者の地域移行、地域定着支援にかかわる精神科<br>病院職員並びに保健所職員等を対象とした、院内実践報<br>告と講演会<br><br>1 部 「県内病院における地域移行の実践例」<br>医療法人 卯の会 新垣病院 大村知嗣・平良麻由美<br>沖縄県立精和病院 池原尚子・屋嘉比浩子<br><br>2 部 「精神科医療とリカバリー」<br>講師:平安 良雄 医療法人へいあん 平安病院<br>法人統括医院長・臨床研修センター長<br>横浜私立大学名誉教授<br>「グループワーク・IMR 実践報告」<br>医療法人へいあん 平安病院 後藤一菜・德里海智子 | 対象:精神科医<br>療機関及び保健<br>所職員<br>(看護師・PSW・OT<br>・心理士・保健師・<br>社会福祉士・事務<br>等)<br><br>参加者:49 人・<br>17 病院・5 機関 |
| かかりつけ医等心の健<br>康対応力向上研修<br><br>R1 年 11 月 22 日(金)<br>19:00～21:00<br>(沖縄県医師会館)<br>※後援:沖縄県医師会 | 第1部 座長 曙クリニック院長 玉井 修<br>テーマ:「沖縄県における飲酒問題と琉球病院での取組み」<br>講師:独立行政法人国立病院機構琉球病院 精神科医長<br>中井 美紀<br><br>第2部 座長 琉球大学大学院医学研究科 精神病態医学<br>講座 教授 近藤 毅<br>テーマ:「アルコールとうつ、自殺～『死のトライアングル』を<br>防ぐために～」<br>講師:国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センタ<br>ー精神保健研究所 薬物依存研究部 部長<br>/病院 薬物依存症センター センター長 松本 俊彦                  | 対象:内科医等<br>かかりつけ医・精<br>神科医・コメディ<br>カル・保健所職<br>員等<br><br>参加者:197 人                                      |

| 研修等名<br>(期日・場所)   | 内 容(テーマ、演題)<br>講 師  | 対象及び<br>参加人員   |
|---|---|--|
| 災害派遣精神医療チ<br>ーム(DPAT)研修会<br><br>R1年12月4日(水)<br>9:00～17:00<br>(当センター)                  | 講師及びファシリテーター：<br>琉球病院、精和病院、南部医療センター・こども医療セ<br>ンター、平安病院、地域保健課から 26 名(医師、看護<br>師、心理士、精神保健福祉士、事務職等)<br>内容:講義、机上演習、災害演習<br>プログラム1 講義 災害医療概論<br>プログラム2 講義 県内の災害医療体制<br>プログラム3 講義 フェイズごとの DPAT 活動について<br>プログラム4 講義 DPAT のトピックス<br>プログラム5 講義 ロジスティクス概論<br>プログラム6 講義・実習 情報管理<br>プログラム7 講義 災害支援システムと災害時の記録<br>プログラム8 講義 DPAT への出動要請について<br>(発災時～DPAT 派遣要請まで)<br>プログラム9 机上演習 DPAT 活動 派遣の準備<br>-DPAT 派遣時の CSCA-<br>プログラム10 机上演習 DPAT 活動 病院支援<br>プログラム11 大規模災害演習 DPAT 活動 地域支援 | 対象:DPAT 登録<br>機関職員及び県<br>内精神病院の職<br>員、行政職員<br><br>参加者:<br><受講者><br>15 病院・2 機関<br>74 人<br>(うち講師兼 2 人)<br><講師> 11 人<br><ファシリテーター<br>> 15 人<br>計 98 人 |
| アルコール依存症<br>支援者研修会<br><br>R2 年 1 月 17 日(金)<br>14:00～16:30<br>(当センター)                  | 1 当事者の体験発表<br>2 家族の体験発表<br>3 講義「アルコール依存症の理解と回復支援」<br>講師 平田 雄三 (糸満晴明病院 医師)   | 対象:保健所、福<br>祉事務所、市町<br>村、医療機関でア<br>ルコール依存症<br>者の回復支援に<br>従事する者<br>参加者 65 人<br>(30 機関)  |
| ギャンブル障害(依存<br>症)支援者研修会<br><br>R1 年7月 26 日(金)<br>10:00～16:00<br>(県総合福祉センター<br>403 研修室) | 1 ギャンブル障害とその治療・支援について<br>講師 精神科医師 小原 圭司<br>(島根県立心と体の相談センター所長)<br>2 ギャンブル障害における認知行動療法「SAT-G」<br>について<br>講師 精神保健福祉士 佐藤 寛志<br>(島根県立心と体の相談センター)<br>3 グループワーク  | 対象:保健所、福<br>祉事務所、市町<br>村、医療機関等<br>でギャンブル依<br>存症者の回復支<br>援に従事する者<br>参加者 60 人<br>(37 機関)   |

## (2) 講演会・フォーラム

| 講演会等名<br>(期日・場所)   | 内 容(テーマ、演題)<br>講 師   | 対象及び<br>参加人員   |
|--|--|--|
| 自死遺族支援講演会<br>R1年8月30日(金)<br>13:30～15:30<br>(県立博物館・美術館<br>2階講堂)                       | 講演:「語ることの意味<br>～自死遺族から教えられたこと～」<br>講師:日本医療大学 保健医療部 看護学科<br>学科長・教授 吉野 淳一  | 対象:県民及び自死遺族の相談や支援に携わる者<br><br>参加者:68人                    |
| 第19回<br>アディクション<br>フォーラム<br><br>R1年2月11日(火)<br>13:00～16:00<br>(アイム・ユニバースて<br>だこ大ホール) | 第1部 回復に取り組む当事者とご家族の体験発表<br>5名:断酒会2名、AA、NA、GA各1名<br>第2部 講演<br>「やめさせようとしなない依存症治療・支援」<br>講師 埼玉県立精神医療センター<br>副病院長 成瀬 暢也<br><br>※ダルクメンバーによるエイサー、交流タイム<br>※自助グループや回復施設等の紹介コーナー設置<br>※依存症自助グループ・関係機関リストや依存症リーフレット等の配布 | 対象:県民、当事者・家族、自助グループ、回復施設、医療・行政・保健・福祉関係者等<br><br>参加者:540人 |

## (3) 令和元年度うつ病に対する医療等の支援体制の強化学業(委託事業)

地域の一般かかりつけ医と精神科医等の連携を円滑にするため、両者が一堂に会し、うつ病等の診断・治療に対する知識を深め、尚かつ、両者の連携のあり方について学ぶことにより、自殺対策の推進を図ることを目的に地区医師会へ委託して実施。

委託先:県内各地区医師会

## 各地区医師会活動内容

| 医師会名        | 期日・場所                          | 内 容   | 参加数 |
|-------------|--------------------------------|---|-----|
| 北部地区<br>医師会 | R1年7月24日(水)<br>北部地区医師会附<br>属病院 | 【自殺を予防する為の北部地域における一般医と精神科医との連携会】<br>参加者(委員):一般医、精神科医、保健所職員、医師会事務局<br>報告①昨年度の実績報告<br>②北部圏域の自殺の現状と取り組みについて<br>議題①講演会等の企画について<br>②次年度委員の選定について | 18名 |
|             | R1年11月6日(水)<br>名護市産業支援セ<br>ンター | 【講演会】<br>演題①「『この人、アルコール依存症かな?』と思ったら」<br>演題②「アルコール性肝疾患」<br>講師:①琉球病院 精神科医 手塚 幸雄<br>②琉球大学医学部附属病院 第一内科<br>特命講師 前城 達次                            | 24名 |

|              |                                      |   |      |
|--------------|--------------------------------------|---|------|
| 中部地区<br>医師会  | R1年8月1日(木)<br>中部地区医師会館               | 【講演会】<br>演題:「働く人のメンタルヘルス」<br>講師:ぎのわんメンタルクリニック院長 道下 聡<br>※講演会後、懇親会実施   | 15名  |
| 南部地区<br>医師会  | R1年6月20日(木)<br>南部地区医師会会議室            | 【うつ病に対する医療等支援体制強化推進委員会】<br>参加者(委員):一般医、精神科医<br>内容:研修の企画、運営についての検討等  | 5名   |
|              | R1年11月21日<br>(木)<br>南部地区医師会小講堂       | 【講演会】<br>演題:「うつ病の診断と治療:抑うつ状態、不眠、希死念慮の評価と対応」<br>講師:平安病院 法人統括院長・臨床研修センター長<br>平安 良雄  | 15名  |
| 那覇市医師会       | R1年7月20日(土)<br>パシフィックホテル<br>沖縄       | 【市民フォーラム】青壮年期の自殺をどう食い止めるか<br>報告:「沖縄県および那覇市における自殺の現状について」<br>報告者:那覇市医師会副会長 玉井 修<br>講演(1)「You are not alone. あなたは独りじゃない」を伝えよう。<br>講師:スクールカウンセラー/沖縄国際大学臨床心理士/公認心理師 稲田 政久<br>講演(2):「法的援助の活用で生きづらさを軽減してほしい」<br>講師:弁護士・沖縄弁護士会/いのちみつめる委員会委員長 上原 智子<br>講演(3):「関わりはあなたの手から」<br>講師:精神科医/沖縄いのちの電話理事長<br>長田 清 | 100名 |
| 浦添市医師会       |                                      | ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止  |      |
| 宮古地区<br>医師会  | R2年1月18日(土)<br>未来創造センター<br>(公民館研修室)館 | 【研修内容】<br>演題:「働く人のうつ病・自殺予防について<br>～働き方改革の時代を迎えて～」<br>講師:山本クリニック院長 山本 和儀   | 15名  |
| 八重山地区<br>医師会 | R1年10月25日<br>(金)<br>八重山地区医師会<br>会議室  | 【研修内容】<br>演題:「自殺予防における関連機関の連携<br>—救急における自殺企図者への対応と、各地域<br>における連携の実際—」<br>講師:独立行政法人 国立病院機構 琉球病院 院長<br>福治 康秀  | 17名  |

## 2 普及啓発

### (1) 芸術・文化講座開催等事業(委託事業)

精神障害者が日頃から取り組んでいる創作活動や音楽活動等を広く発表する機会を設けることにより、精神障害者の活動意欲や自信を高め、生活の質の向上及び社会参加の促進、ならびに県民の精神障害者に対する理解を深めることを目的に開催する。

沖縄県作業療法士会へ委託。委託先が、運営委員会と実行委員会を設け、企画運営を行う。当センターも運営委員(所長)と実行委員(担当2名)として参加している。

運営委員会2回、実行委員会を7回開催。

| 日時                           | 場所  | 内容  | 参加人数   |
|------------------------------|---|---|--------|
| R1年11月6日(水)<br>13:30~15:00   | サンエー経塚シ<br>ティ1階コート<br>(浦添市)               | 「ふれあいコンサート」<br>当事者によるバリアフリーコンサート<br>・内容:歌、演奏、手工芸品展示販売等<br>・出演団体:6団体<br>・展示販売団体:2団体  | 約200人  |
| R2年2月4日(火)<br>~6日(木)<br>※3日間 | 沖縄県立博物館<br>・美術館<br>県民ギャラリー<br>講堂<br>(那覇市) | 「第15回こころの芸術・文化フェスティバル」<br>・内容:作品展示、表彰式<br>・作品内容:絵画・書道・手芸・工芸・陶芸・写真<br>文芸・貼り絵・共同作品等<br>・応募数302点、展示数114点<br>・受賞作品数:86点<br>(最優秀賞9点、優秀賞34点、奨励賞43点) | 1,237人 |

## (2) 刊行物

| 行政資料名                     | 定期・不定期 | 発行部数                        | 規格                | 頁数 |
|---------------------------|--------|-----------------------------|-------------------|----|
| 総合精神保健福祉センター所報(平成31年度実績)  | 定期     | —                           | A4                |    |
| ひきこもり専門支援センター通信 3号        | 定期     | 2,000                       | A4                | 4  |
| ひきこもりに悩んでいる方へ             | 不定期    | 1,000                       | A5                | 8  |
| ひきこもりかな？                  | 不定期    | 5,000                       | 展開 A4             | 1  |
| ひきこもり 正しい理解と支援のために        | 不定期    | 1,000                       | A4                | 4  |
| 知っていますか？依存症という病気のこと       | 不定期    | 2,000                       | B6 変型             | 8  |
| 危険です！！ネット依存症              | 不定期    | 1,000                       | A4                | 4  |
| 気づいてください 飲み過ぎ赤信号          | 不定期    | 1,500                       | A4                | 4  |
| “考えましょう” お酒とあなたのイイ関係      | 不定期    | 1,000                       | A4                | 4  |
| 正しく知って予防しよう ギャンブル依存症になる前に | 不定期    | 1,000                       | A4                | 4  |
| アディクションフォーラム案内用ポスター・チラシ   | 不定期    | 1,000                       | A4                | 1  |
| 自死遺族支援講演会案内用ポスター・チラシ      | 不定期    | ポスター<br>320<br>チラシ<br>1,500 | A3/ポスター<br>A4/チラシ | 1  |
| 「参加してみませんか」自死遺族の「分かち合いの会」 | 不定期    | 4,000                       | A4                | 1  |

配布先: 県関係機関、全国精神保健福祉センター、福祉事務所、保健所、市町村、医療機関、

大学・教育機関、障害者福祉支援機関 等

### 3 技術援助・連絡会議

#### (1) 技術指導・援助状況

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所、市町村、その他の関係機関、団体等に対して研修会・講演会への講師派遣、各種委員会・ケース会議への参加及び各種会議を開催し、専門的な立場から技術指導及び技術援助を行っている。

|         | 技術指導・援助 (延件数) |      |       |    |       |     |     |         |       |      |      |    |     |     |
|---------|---------------|------|-------|----|-------|-----|-----|---------|-------|------|------|----|-----|-----|
|         | 老人保健          | 社会復帰 | アルコール | 薬物 | ギャンブル | ゲーム | 思春期 | 心の健康づくり | ひきこもり | 自殺関連 | 犯罪被害 | 災害 | その他 | 合計  |
| 保健所     |               |      | 4     |    |       | 5   |     |         | 7     |      |      | 2  | 8   | 26  |
| 市町村     | 1             |      | 11    |    |       | 8   | 4   |         | 16    |      |      |    | 6   | 46  |
| 福祉事務所   |               | 1    |       |    |       |     |     |         | 3     |      |      |    |     | 4   |
| 医療施設    |               | 6    | 13    |    |       | 13  |     |         | 1     |      | 4    | 25 | 50  | 112 |
| 障害者支援施設 |               | 2    |       |    |       |     | 2   |         | 23    |      |      |    |     | 27  |
| 社会復帰施設  |               | 1    |       |    |       |     |     |         | 4     |      |      |    |     | 5   |
| その他     |               | 14   | 27    | 1  |       | 26  | 5   |         | 5     | 18   | 44   | 10 | 51  | 201 |
| 実施件数    | 1             | 24   | 1     | 1  |       | 1   | 11  |         | 11    | 2    | 48   | 6  | 29  | 135 |

※実施件数は当センターが技術指導・援助を行った件数を実数で計上している。

(集会教育などは、指導対象施設それぞれに1ずつ計上しているが、実施件数は1回として計上している。)

#### (2) 連携会議

##### ア アディクション連携会議

アディクション問題に関わる行政・保健・医療・福祉・司法等の関係機関、当事者や家族の自助グループや回復施設等が一同に会し、共に学び、意見や情報を交換することで連携を深めることを目的に開催。

[第1回]

日時：R1年7月3日(水) 14:00～16:30

会場：当センター2階 教育研修室

参加者：65人(55機関)

内容：①県内アディクション相談状況の報告(当センター)

②取組紹介：中部保健所及びギャマノン

③事例紹介(3事例)

④意見交換・情報交換：ネット依存やゲーム依存への対応、発達障害や未成年者への対応等

⑤報告、広報 ※依存症関係機関・自助グループリスト配布



[第2回]

日時：R1年11月6日(水) 13:30～16:30

会場：当センター2階 教育研修室

参加者：60人(52機関)

内容：①講義「ゲーム依存(障害)について」

講師 高宮城 修

(ネット健康問題啓発者全国連絡協議会公式インストラクター)

②事例検討(1事例)

③意見交換・情報交換：SBIRTSの現状と課題について、飲酒絡みのDV被害者の支援について

④報告、広報

イ 精神科救急医療責任者等連絡会 (P.35 参照)

ウ 精神科救急医療情報センター窓口相談員連絡会 (P.35 参照)

エ ひきこもり支援地域連絡協議会 (P.38 参照)

オ DPAT(災害派遣精神医療チーム)体制整備事業に係る会議

(ア) 運営委員会

災害派遣精神医療チーム体制整備事業において運営委員会を設置し、災害等の発生時、専門的なところのケアに関する対応が円滑に行われるようなチームの体制整備をすることにより、緊急支援体制の強化を図る。

開催：R1年7月31日(月)、R2年2月5日(水) 14:00～16:00

委員：12人(学識1人、医療7人、福祉1人、行政3人)

内容：第1回

報告1 沖縄県災害派遣精神医療チーム設置要綱の一部改正について

2 沖縄県災害派遣精神医療チーム(DPAT)登録機関について

3 第7次医療計画における災害拠点精神科病院について

4 沖縄県災害派遣精神医療チーム体制整備事業運営委員会設置要領の一部改正について

協議1 DPAT統括のDPAT事務局への報告について

2 事件・事故等集団災害時のDPAT活動について

第2回

報告1 沖縄県災害派遣精神医療チーム体制整備事業運営委員会設置要領の一部改正について

2 H31(R1)年度DPAT関連研修、訓練等参加状況

協議1 沖縄県災害派遣精神医療チーム設置要綱について

2 災害拠点精神科病院の選定要領案について

3 沖縄県DPAT活動マニュアル改訂について(県外派遣時)

4 美ら島レスキューから見えるDPAT体制整備への課題等について

(イ) 災害時におけるこころのケア活動マニュアル検討委員会

H26年3月に沖縄県の「災害時におけるこころのケア活動マニュアル」が作成されている。平成28年熊本地震での沖縄県DPATの派遣を通してわかった現マニュアルの課題や沖縄県災害医療マニュアルの改訂、国のDPAT活動要領の一部改正に伴い改訂が必要になったことから、運営委員会設置要綱第6に基づき、マニュアル検討委員会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は開催していない。

(ウ) DPAT 研修企画調整会議

本県では非常時に備え、沖縄県内発災を想定した実践的な訓練を定期的に行い、大規模災害発生時に活動可能な沖縄県DPATの育成を図るために毎年DPAT研修を実施している。この研修には、DPAT先遣隊を始め、専門的な訓練を受けた病院の協力が不可欠であり、それらの機関との協働によりDPAT研修の企画や内容の検討及び調整のため、同会議を開催した。

開催：年4回

(R1年8月5日、10月21日、11月18日、R2年3月11日各2時間)

参加者：9～11人（医師、看護師、精神保健福祉士、公認心理師、薬剤師、作業療法士、事務職等）

参加機関：琉球病院、精和病院、南部医療センター、平安病院、地域保健課、当センター

内容：研修内容、プログラム内容の検討、講師・ファシリテーターの役割分担、DPAT研修のあり方等について協議する。

カ 沖縄県発達障がい者支援センター・沖縄県立総合神保健福祉センター連絡会議

沖縄県の発達障害児（者）支援体制の推進を図るため、沖縄県発達障がい者支援センターがじゅま〜ると当センターの恒常的な連携が確保できることを目的に実施。

開催：年2回（R1年6月24日、R2年2月17日 各1時間半）

会場：発達障がい者支援センターがじゅま〜る、当センター

参加者：発達障がい者支援センターがじゅま〜る職員、当センター職員、ひきこもり専門支援センター相談員（計8～12名）

内容：各機関における実績概要紹介、情報・意見交換。

## (3) 講師等派遣

| No. | 日付                    | 内 容                      | 参加者数 | 主 催              | 対 象        | 講師等派遣職員       |
|-----|-----------------------|--------------------------|------|------------------|------------|---------------|
| 1   | 4月25日(木)              | 公衆衛生看護活動論                | 50   | 名桜大学             | 学生         | 伊禮嘉宣          |
| 2   | 5月15日(水)              | 沖縄司法精神医学懇話会              | 50   | 司法精神医学懇話会        | 会員         | 宮川治           |
| 3   | 5月23日(木)              | 相談員基礎研修                  | 100  | ているる             | 相談員        | 宮川治           |
| 4   | 6月1日(土)               | 内観懇話会                    | 30   | 内観研修会            | 会員         | 宮川治           |
| 5   | 7月1日(月)               | 糸満市民生委員児童委員全体研修会         | 40   | 糸満市              | 民生委員児童委員等  | 園田陽子          |
| 6   | 7月23日(火)              | メンタルヘルス                  | 10   | 沖縄刑務所            | 入所者        | 宮川治           |
| 7   | 7月23日(火)              | 生活困窮者自立支援制度人材養成研修        | 40   | 沖縄県県労働者福祉基金協会    | 自立支援機関担当者等 | 園田陽子          |
| 8   | 8月2日(金)               | 中堅保健師前期研修会               | 16   | 県地域保健課           | 市町村・保健所保健師 | 新城明美          |
| 9   | 8月7日(水)               | 中城村民生・児童委員8月定例会          | 20   | 中城村              | 民生委員・児童委員  | 園田陽子          |
| 10  | 9月6日(金)               | 福祉事務所等生活保護就労支援員研修        | 15   | 県社会福祉協議会         | 支援員等       | 園田陽子          |
| 11  | 9月24日(火)              | いのちの電話相談員勉強会             | 20   | 沖縄いのちの電話         | 会員         | 園田陽子          |
| 12  | 10月1日(火)              | 企業就労をサポートする支援者のための勉強会    | 16   | 障害者職業センター        | 障害者支援機関相談員 | 新城明美          |
| 13  | 12月25日(水)             | 中堅保健師後期研修会               | 15   | 県地域保健課           | 市町村・保健所保健師 | 新城明美          |
| 14  | 1月28日(火)              | メンタルヘルス                  | 10   | 沖縄刑務所            | 入所者        | 宮川治           |
| 15  | 1月31日(金)              | 県新任保健師研修会(後期)            | 28   | 県地域保健課           | 市町村・保健所保健師 | 伊禮嘉宣          |
| 16  | 2月9日(日)               | 多様化する依存症問題に対応する人材育成      | 30   | NPO 法人回復はどこにでもある | 医療・福祉関係支援者 | 宮川治           |
| 17  | 2月19日(水)              | 沖縄司法精神医学懇話会              | 50   | 司法精神医学懇話書き       | 会員         | 宮川治           |
| 18  | 2月22日(土)              | 沖縄県ソーシャルワーク学会・社会福祉公開セミナー | 100  | ソーシャルワーク協議会      | 関係機関支援者    | 園田陽子          |
| 19  | 2月27日(木)              | ひきこもり支援者研修会              | 30   | 宮古保健所            | 市町村・保健所等   | 園田陽子<br>前田笑美子 |
| 20  | 2月14日(金)～<br>2月16日(日) | 心理教育インストラクター研修会          | 40   | 福岡県              | 医療機関       | 宮川治           |

## 4 組織育成支援

### (1) 自死遺族の「分かち合い」の会

自死遺族が安心して自らの痛みと向き合うことのできる「分かち合いの場」を提供し、参加する一人ひとりが抱えている悲しみを共有することによって癒やされ、自分のペースで回復していけることを目的に、平成19年度からファシリテーター養成を行い、平成20年度から自死遺族の「分かち合い」の会を開催している。平成31(令和元)年度は台風のため中止した9月を除き、年11回開催し、参加者は実4人(新規1人、前年度以前に参加があった方3人)、延7人であった。

対象者：大切な人(配偶者、親、子ども、兄弟姉妹)を自死(自殺)によって亡くされた方。原則として、20歳以上。

場所：当センター・ディルム

開催日時：毎月第3土曜日、14時～16時(13時半受付)

参加方法：当日参加(予約なし)

スタッフ：養成研修終了したボランティアスタッフとセンター職員で行っている。

内容：基本は小グループで分かち合い(語り合い)、状況に応じ個別面談を行う。

#### 自死遺族の「分かち合い」の会開催・参加状況

| 開催月  | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月 | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 合計     |
|------|------|------|------|------|------|----|------|------|------|------|------|------|--------|
| 参加者数 | 1    | 0    | 1    | 0    | 1    | ／  | 0    | 0    | 0    | 1    | 1    | 2    | 7      |
| スタッフ | 4(2) | 4(2) | 2(1) | 3(1) | 4(1) | ／  | 4(1) | 2(1) | 4(1) | 4(1) | 3(1) | 3(1) | 37(13) |

※スタッフのうち、カッコ内は当センター職員(再掲)

### (2) 自助グループ等支援

精神保健福祉に関連する自助グループの集いやミーティング開催のために、当施設の一部の借用を認め、自助グループ運営を支援している。

#### 当施設を利用して活動した自助グループ

|   | 名称                  | 内容   |
|---|---------------------|--|
| 1 | 那覇・南部ひきこもり親の会       | 不登校・ひきこもりの親の交流会  |
| 2 | G♡B(ジーハートビー)        | うつ病デイケアで、認知行動療法(CBT)を学んだ者同士のミーティング                         |
| 3 | 琉球G A I A 家族会       | アルコールや薬物、ギャンブル等依存症の問題を抱えたご家族のための相談支援や勉強会、                  |
| 4 | NA イマココグループ         | 薬物によって問題を抱えた本人達のミーティング(クローズド)                              |
| 5 | 沖縄ナラノン 沖縄地域コーラルグループ | 薬物依存症のご家族のためのミーティング  |
| 6 | 豊見城断酒会              | アルコール問題で悩む本人やご家族の酒害からの回復に向けた昼例会。(夜例会への出席が困難な方が参加できる機会を増やす) |
| 7 | 沖縄県断酒会              | アルコール問題で悩む本人やご家族のための酒害からの回復を目的とする自助組織の総会、理事会、研修会           |